

建築学専攻

I. 志望区分

志望区分	研究内容	担当教員
構 造 系		
I-1	建築構造力学 構造解析学 構造安定論 建築設計力学 大空間構造 建築構造最適化	大崎 純
I-2	鉄筋コンクリート構造学 プレストレスト・コンクリート構造学 構造材料学 複合構造学 耐震設計学 耐火設計	西山 峰広 谷 昌典
I-3	鉄骨構造学 合成構造学 高性能材料工学 空間構造計画学 溶接・接合工学	聲高 裕治
I-4	建築・都市保全再生 地震工学 災害リスクマネジメント 構造デザイン論 伝統木造	林 康裕 杉野 未奈
I-5	制振構造 建築動力学 耐震設計法 建築地盤工学 構造最適設計・逆問題 耐震補強 システム同定	竹脇 出 藤田 皓平
I-6	材料・構法創生学 破壊力学の応用 構造接合法と環境共生 セメント系材料と高性能合金 損傷制御とスマート構造	金子 佳生
I-7	地震環境工学 地盤震動論 地震ハザード解析 地震荷重論 地盤-建物系非線形応答解析	松島 信一
I-8	耐風構造工学 風環境工学 耐風設計デザイン論 大気環境災害論 工学的意思決定論	丸山 敬 西嶋 一欽
I-9	鋼構造耐震学 構造振動制御論 極限解析学 建築防災工学 構造ヘルスマニタリング	池田 芳樹 倉田 真宏
計 画 系		
II-1	建築計画・設計 環境行動・心理 医療福祉環境デザイン 高齢期の地域継続居住 ダイバーシティ・デザイン	三浦 研 吉田 哲
II-2	建築史 都市史 建築技術史 建築文化財保存	富島 義幸
II-3	建築設計学 建築設計 建築形態論 建築計画・設計学 ソーシャルデザイン 比較居住文化論	平田 晃久 前田 昌弘
II-4	建築論 生活空間設計学 建築空間論 居住形態論 景観デザイン論	竹山 聖 田路 貴浩
II-5	建築生産 建築プロジェクトマネジメント 生産設計 建築経済 建築システム設計 建築システム最適化	金多 隆
II-6	居住空間学 都市・地域計画 環境再生・共生 住居・住環境計画 居住空間の再編・再生	神吉紀世子 柳沢 究
II-7	人間環境設計論 環境デザイン 地域建築学 自然災害と人間居住	小林 広英
II-8	災害と都市・建築 防災・復興計画論 災害建築・都市のデザイン 危機管理論	牧 紀男
環 境 系		
III-1	温熱環境制御 建築と設備の省エネルギー 文化財保存	小椋 大輔
III-2	視環境工学 建築照明・色彩	石田泰一郎
III-3	都市と建築空間の環境調整 建築火災安全工学 自然光を利用した環境調整	原田 和典
III-4	音環境 騒音・振動制御 建築音響 環境心理 音とコミュニケーション	高野 靖 大谷 真
III-5	都市火災 地震火災 都市災害リスク評価 災害と人間行動	西野 智研

II. 募集人員

建築学専攻 若干名

III. 出願資格

募集要項 4 ページ「II - i 出願資格」参照

IV. 学力検査日程

月 日	曜	時 間	試験科目	概 要
2月12日	火	なし		
2月13日	水	13:00 ～ 15:30	専門科目	筆答 志望区分に従い、構造、計画、 環境の中から1科目を選択

(注) 試験は桂キャンパス C2 棟で行う。詳細は受験票交付時に指示する。

試験開始後 30 分以上遅刻した者の入室は認めない。

携帯電話等の電子機器類は、なるべく試験室に持ち込まないこと。持ち込む場合には、電源を切り、かばんにしまって所定の場所に置くこと。身につけている場合、不正行為と見なされることがあるので注意すること。

V. 入学試験詳細

(1) 配点

科 目	配 点
英語	100
専門科目	300
合 計	400

(2) 英語

TOEFL 試験の成績を 100 点満点に換算する。

2017 年 2 月 1 日以降に実施された TOEFL スコアを有効とする。ただし、TOEFL-iBT(Internet-Based Test)あるいは TOEFL-PBT(Paper-Based Test) のみ受け付ける。TOEFL-ITP などの団体特別受験制度による成績は無効とする。

本人宛に郵送された「Test Taker (Examinee) Score Report」の原本（コピーや受験生自身でダウンロードしたものは不可）を提出すること。

「Test Taker (Examinee) Score Report」は、ETS（米国 Educational Testing Service）から本人宛に郵送される。TOEFL テストの受験を申し込む際に、紙媒体の「Test Taker (Examinee) Score Report」を受け取るように、スコア通知設定画面で申請すること。

「Test Taker (Examinee) Score Report」の原本を専門科目の開始前に監督者の指示によって提出すること。提出しなかった場合は、英語の得点を 0 点とする。

受験資格により TOEFL を受験することが困難な場合は、事前に C クラスター事務区教務掛(建

築系)まで連絡すること。

「Test Taker (Examinee) Score Report」に加えて、「Official Score Report」(ETS から京都大学工学研究科建築学専攻宛に直送される)も提出すること。

次のいずれかの方法で手続を行い、建築学専攻に届くようにすること(期限:2月6日(水))。

- ・ TOEFL 試験申込時又は試験前日の 22 時まで ETS に申請する方法(無料)
- ・ TOEFL 試験日以降に ETS に申請する方法(有料)

建築学専攻の Institution Code は次の通り: B472

TOEFL 試験の詳細についての問い合わせ先は、以下の通り。

◆TOEFL: 国際教育交換協議会(CIEE)・TOEFL 事業部

Tel: 03-5467-5489、<http://www.cieej.or.jp/toefl/index.html>

(3) 有資格者及び合格者決定法

- (a) 総得点(400点満点)が200点以上の者を有資格者とする。
- (b) 有資格者の中から得点と志望区分を総合的に判断して合格者を決定する。

VI. 出願要領

出願に先立ち、必ず「志望区分」担当教員に連絡し、受入れについて確認すること。

「志望区分申告書」(様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること)を願書提出時に別途 C クラスター事務区教務掛(建築系)へ提出すること。

VII. 入学後の教育プログラムの選択

入学後には下記の2種類の教育プログラムが準備されている。いずれのプログラムを履修するかは、合格者の志望と入試成績に応じて審査の後に決定される。入試区分「建築学専攻」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは下記の通りである。詳細については、募集要項18頁の表を参照すること。また、教育プログラムの内容についても、募集要項の『X 教育プログラムの内容(融合工学コース)』を参照すること。

- 前後期連携教育プログラム(融合工学コース)
 - ・ デザイン学分野
- 修士課程教育プログラム
 - ・ 建築学専攻

VIII. その他

問合せ先・連絡先

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂

京都大学 C クラスター事務区教務掛(建築系)

電話: 075-383-2967

E-mail: kenchiku@adm.t.kyoto-u.ac.jp

参照 <http://www.ar.t.kyoto-u.ac.jp/>